

2017年度 金城学院幼稚園

No. 6

こども

発行

6/16

ニュース

6月の第三日曜日は『父の日』です。
この『父の日』はいつ頃、何処で始まったのでしょうか。

1909年、ワシントン州のソナラ・ドットという女性は、『母の日』の説教を聞いて、『父の日』もあるべきだと考えました。母親の亡き後、ソナラと5人の兄を男手一つで育ててくれた父親を敬愛していたからです。

父親が6月生まれだったため、ソナラは自分が通う教会の牧師に頼み、6月に『父の日』を祝う礼拝をしてもらいました。それは1909年6月19日で、第三日曜日でした。

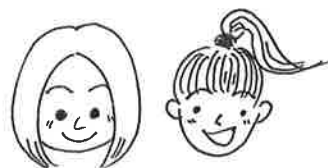
これがもとで、ワシントン州では6月の第三日曜日が『父の日』となったのです。そして1972年には、国民の祝日として定められました。

『母の日』も『父の日』もクリスチャン女性によって、親への深い愛と感謝を込めて始められました。あまりにも自然に日々注がれている親の愛、普段はつい当たり前前に思い、忘れがちですが、この機会に心からの感謝を贈りたいと思います。

子ども達が思いを込めたプレゼントを持ち帰ります。作っている時は、子ども達から日頃のお父さんのことをたくさん聞く機会になりました。嬉しそうに話す子ども達の表情がとても印象的でした。今回のこどもニュースは、その時の様子をお伝えします。

(まきえ)

年長あつまり



5月になり、各学年のあつまりが始まりました。この学年のあつまりは園生活の中心になっている遊びがより充実する為の貴重な時間になっていくようにと考えています。また年長児にとっては園生活を担っていく存在としての意識も育てて欲しいと願っています。

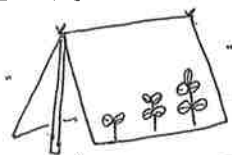
子どもたちがどのような成長を果たしているのか、ワクワクした気持ちで初日のあつまりの時間を迎えました。子ども達はというと、“年長さん”という響きが嬉しいようでニヤニヤした顔で集まって来ました。



そして初めに私たちは、この1年で何がしたいかを出し合いました。子ども達からは、日頃の遊びやクラスのあつまりでできていることがたくさん出てきました。いつものことが充分に楽しいからもっと楽しみたいかったり、自信を持って取り組んでいたりしているのだと思いました。またピンとこない様子の子も達もいたので、“年長だから出来ること”はないかな？ “年長になったからやってみたいこと”はないかな？ こんな風に考えることにしてみたら・・・いろいろ出てきました。その中には「イスが作りたい」と昨年の年長児の姿をしっかり覚えていての意見もありました。

子ども達の意見から1番感じたのは、みんなで○○したいという思いが強いということです。みんなで・・・という思いを大切に、共感体験を通して子ども同士が共育できるようにと思います。また「こんなこと言ってもダメだよ」と躊躇する姿や（誰かが言ってくれるよね）とどこか人任せという姿もあったり、これから育てて欲しいと感じる時もありました。自分のこととして受け止めて意見が言えるように、また初めからダメと決めつけず、まず意見として思いを表現し、出来る方法を年長のみんなで考えていく姿勢をもって欲しいと思います。

その後何回かの年長あつまりがありました。お父さんへのプレゼントを作ったり、イモ苗植えに出かけたり、回を重ねることで、子ども達の課題もいろいろ見えてきました。キャンプ説明会でもう少し具体的に詳しくお話しさせていただきます。

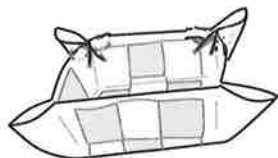


キャンプに向けての話し合いが始まりました！

「どこかに出かけて、キャンプがしたい」この言葉から始まったキャンプの話し合い、子ども達には、現実的なことをしっかり理解して、自分達に今できることを見つけて計画を立てて行って欲しいと思い、大人としての意見を伝えました。そこから子ども達が考え、意見を出し合って決定したのが、夏に幼稚園に泊まるキャンプです。他にもご飯をどうする？、泊まるには何がある？、お風呂は？、夜はどう過ごす？ 子ども達の方から色々な考えが出ました。これからを想うとワクワクします。報告おたのしみに！

(まさえ)

年長さんからのお父さんへのプレゼントは・・・



小物入れです！！

☆お父さん大好き♡

お父さんについて子ども達に色々聞いてみました。「お休みの時遊んでくれる」「公園に連れて行ってくれて嬉しい」「お仕事してくれてありがとう」「ごはん作ってくれたり、洗濯物干して、ベランダの掃除、ビール飲んでいるところがかっこいい」「パパがおんぶしてくれて嬉しい」「スーツ着ているところがかっこいい」などなど、ここには書ききれないほどの言葉がたくさん出ました。お仕事だけでなく家庭でも大活躍されていることが子ども達の話からよく分かりました。うちのお父さんってすごいんだよ！と子ども達にとって自慢のお父さんなんですね♪

☆小物入れ作り

お母さんへのプレゼント作りの経験を生かし、同じ素材のフェルトを使い、小物入れを作りました。切込みが入ったフェルトに、細長く切った5本のフェルトを上、下の順に編んでいきます。前回のお母さんへのプレゼントでも上、下、上、下と編んだことで、とてもスムーズに作る事ができました。中には、初めはなかなか編むことが難しかった子も、上、下の理解はできていた為、3本目を編む時にはしっかりと理解し、自分でよく考えて編む事ができました。前回の経験がとても生かされているのだと思いました。また今回は、四隅の毛糸のひもも自分で結びました。先日のお芋の苗植えに使うペットボトルバケツの紐を、自分で結びましたが、その時は片結びをしたことがない子がほとんどでした。しかし今回はバケツの紐を結んで片結びのやり方を覚えていたことで、4本の毛糸を上手に結ぶ事ができました。経験が積み重なって自分の力として蓄えていくことができる年長さん。今後も更に様々な経験を積んでいきたいと思います。

☆カード作り

クレパスを使ってお父さんの顔を描きました。「うちのお父さんメガネかけてた～」「ひげがたくさんじゃないけど少しあるよ」「髪の毛は短いかな」など、お父さんの顔を思い出しながら描きました。また、お父さん・パパなど宛名と、〇〇よりと自分の名前も書きました。字をなぞったり、真似して書いてみたり、字に興味を持って書く事ができました。

子ども達が心を込めて作った小物入れ。是非、職場や家庭で使ってくださいね。



ねんちゅうあつまり

今年度も「あつまり」が始まりました！

あつまりでは、学年ごとの活動を通して、年中さんがより成長していくことを願っています。年中さんだけのあつまりの中で、製作やゲーム、お散歩など様々な活動を取り入れ、楽しんでいく予定です！



はとぐみ&ほしぐみ&ゆりぐみ……ほしぐみにてちか先生
ひつじぐみ&ぶどうぐみ……ひつじぐみにてゆか先生



しばらくの間は、上記の2グループに分かれて行っていく予定です。あつまりを通して、友だち関係の広がりや深まりがあるようにとも願っているので、二学期以降グループ替えもしたいと思っています。

あつまりでの子どもたちの様子は、こどもニュースでも随時お知らせする予定です。どうぞお楽しみに！

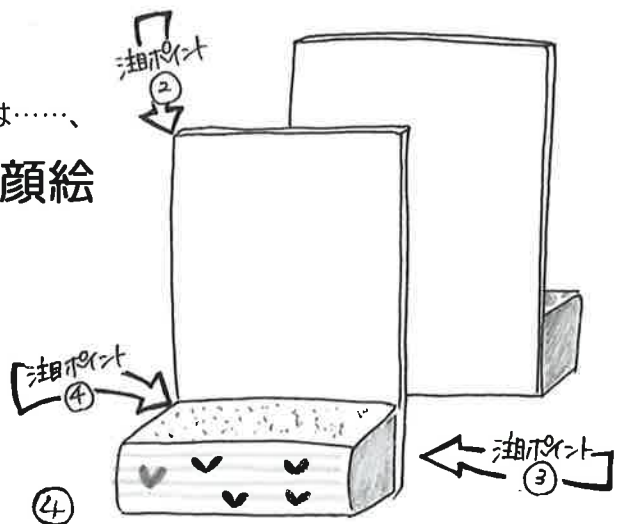
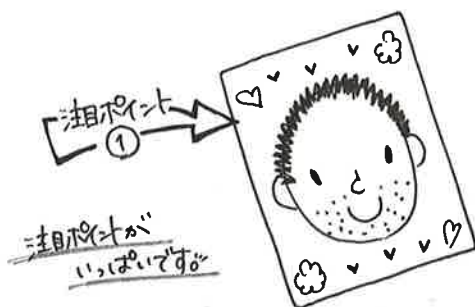


父の日のプレゼントを作りました！

母の日を振り返りながら、6月の父の日のことを子どもたちと話し合い、大好きなお父さんにプレゼントを作りました。子どもたちにお父さんのことを聞いてみると、「眼鏡を掛けていて、かっこいいんだよー！」「おひげがジョリジョリするの！」「寝ているところが好き！ だっていびきがきれいな音なんだよー！」「お仕事頑張ってるんだよ！」と話が尽きません。子どもたちの「お父さん大好き☆」という気持ちが伝わってくるようでした。

そんな年中さんからのプレゼントは……、

ブックエンド & 似顔絵



【注目ポイント①：似顔絵カード】

「眼鏡を掛けているよ」「おひげが生えているよ」と、お父さんの顔をしっかりとイメージしてカードを描きました。おひげはクレパスをとんとんと軽く叩くようにして描いてみせると、「ホントだー!」「パパ、こんなおひげ生えてる〜!」とお父さんの顔を思い起こしながら、同じように描いてみる姿がありました。

また、今回は似顔絵の周りをさらにサインペンで絵を描いて飾りました。小さなスペースに細かい絵を一心に描きました。



細かい絵も

描けるように「おひげ」=「お」

【注目ポイント②：やすりがけ】

母の日のプレゼントで取り組んだやすりがけ。前回じっくりと取り組むことができた年中さんだからこそ、今度はもっと多くのやすりがけに挑戦してみました。

木が削れていく感覚を掴んで、あっという間にやすりを掛け終わっていた子、板材の角が滑らかになるぐらいしっかりとやすりを掛けていた子。子どもたち一人ひとりが前回以上にじっくりとやすりがけに取り組むことができました。



【注目ポイント③：飾りつけ】

やすりを掛けた木をそのままブックエンドにするのではなく、ツインマーカーを使って模様を描いたり、色を塗ったりしました。

このツインマーカーは、クラスにもトントンコーナーにも置いてあるので、「使ったことある!」「知ってる!」という声が口々に聞かれました。けれど、太い側と細い側を使えば、三種類の線が掛けることを伝えると「へえ〜!」「知らなかった!」その後の飾りつけでは、ペンの太さを意識して使う姿がありました。



上下できないが
意識して
飾りつけをしました!!

【注目ポイント④：組み立て】

「あとは“合体”させたら、完成なんだよね?」「今日は“仕上げ”なんだよね?」とできあがりをとっても楽しみにしていた子どもたち。板材のどこに棒材を貼ったら良いかも、ととてもよく分かっていて「ここだよー!」「斜めに貼ったら倒れちゃうもん。まっすぐ貼らなきゃ!」という発言も。ポンドもはみ出さないように、うす〜く塗って完成☆「できたー!」と達成感に満ちた声も聞こえました。

ブックエンドはやや小振りな大きさですので、A4サイズぐらいの大きなものを支えようとすると倒れてしまうことがあります。文庫本程度のサイズのものを立てる時に使うのがオススメですよ☆

(ゆか)





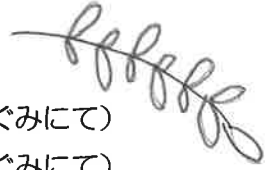
年少あつまり



年少さんも あつまり が始まりましたよ！



はとぐみ&ほしぐみ&ゆりぐみ…まお先生・くみ先生（はとぐみにて）
ひつじぐみ&ぶどうぐみ…あきこ先生・くみこ先生（ぶどうぐみにて）



しばらくの間は上記の2グループに分かれて行っていく予定です。年少あつまりのなかでは、はさみやのりなどの使い方を知ったり、身体を動かすことを楽しんだり…と、年少さんだからこそ知ってほしいことや、経験してほしいことを中心に行っていきます。あつまりでの様子はまた、こどもニュースでお伝えしていきますね。お楽しみに♪

年少あつまりが始まったその日、これからよろしくね！と保育者と子どもたちの自己紹介をしました。その後、年少さんだけでリズムをしたり、絵本をみたり、なかでも盛り上がったのは“体操”でした！曲は年長・年中さんにはおなじみのエビカニクス♪初めて聞く子もいましたが、「してる〜」「できる〜」という声もあがり、エビ!カニ!!と楽しく体操できました。

父の日プレゼントには絵の具を使っていますが、あつまりでは“指絵の具”を楽しみました。蝶やテントウムシ、ロケットなどの線画に、筆ではなく指を使って模様を描いたり、画用紙の上で色を混ぜてみたり、指の跡が残る様子を楽しんだり…1枚だけでなく何枚も楽しむ子もいました。その後普段の遊びのコーナーでも準備をしたところ、年少さんだけでなく年中さんや年長さんが「指でやるの〜?」「これ、たのし〜」「もう一枚やっていい〜?」とハマっていましたよ♡

“体操”も“指絵の具”もあつまりの活動にとどまらず、普段の遊びにも繋がっています。これからあつまりで経験することが、子どもたちの遊びや生活に繋がっていくことを願っています。

あきこ



年少さんからのプレゼントは

お父さんの顔 & トンボクリップ



T「お母さんの日にプレゼントを作ったことを覚えている？今度はお父さんの日があるんだよ！お父さんにもプレゼントしたいね。」と子ども達に話をすると、、、
「お母さんにプレゼントつくる～！！お母さんにあげたい！！」と返ってきて、
(お父さんが聞いたら泣いちゃうぞ)と思いつつ

T「みんなのお父さんはどんなお父さん？」と質問をすると
「一緒にボールで遊んでくれる！」「だっこしてくれる」「いろんな所に連れて行ってくれる」とちゃんと出て来ました。

家族の為、一生懸命働いているお父さんにありがたいの気持ちを込めてプレゼントを作りました。

お母さんの顔を描いてから、約1カ月経ちました。その成長はお父さんの顔の絵からも感じられます。しっかり塗りこんで描ける子、特徴を良く捉えることができる子、色々な色を使って描いている子など、とても素敵な顔の絵になりました。



もう一つはトンボクリップです。一番にトンボの羽をモールで作りました。“ひねる”という動作は難しいようで苦戦していましたが、今回は年長さんの手伝いはなしで自分達の力で頑張りました。

次に指に絵の具をつけて、クリップを塗ったり、点々と模様をつけたりしました。この塗り方にも個性があり、裏表もしっかり塗る子、水玉模様にする子、マーブル模様にする子、横までしっかり色をつける子、など是非クリップの模様注目してみてください。



最後にボンドで羽をつけ、目玉をつけて完成です！！パーツ付けも自身で行っているので味があり、その子の個性が表現された作品になりました。

一生懸命作ったプレゼント、大切に使ってくださいね
(トンボの目がシールの為剥がれやすくなっています。取れた場合接着剤等で付け直してください。)

(まお)



♪ にじぐみさんからのプレゼントは…

『おとうさんのかお』です♪



☆お父さんの顔ってどんな顔？

「まんまるさん、まんまるさん、あなたはいったいだあ〜れ」という歌に合わせて、動物の顔当てクイズをしました。お耳が長いのはうさぎさん、お鼻が丸いのはぶたさん…。みんなのおとうさんは、どんなおかおをしているかな？と聞いてみると、「ひげがあるよ！」「わらったかお♪」「目はふたつ一つ！」と、教えてくれました。

どんなところが好き？と聞くと、「あそんでくれる！」「こうえんつれてってくれる！」「くるまのうんてんしてくれるよ」と、次々にお父さんとのステキなエピソードが♪

クレパスの使い方が、どんどん上手になってきたにじぐみさん。ぐるぐるっと大きな丸や小さな丸を描くこともできるようになりました。

お友達と一緒に楽しく描いた、大好きな大好きなお父さんの顔♪
本物のお顔と似てるかな？



☆すてきに飾ろう！

6月といえばアジサイの花。本物のアジサイをじっくり見ながら、その色の美しさを花紙で表現してみました。水色、ピンク、紫の花紙をアジサイの花に見立てて、子どもたちの小さな手でクシャクシャ、ギュ〜と小さく丸めたのですが、それがなんだかとても楽しかったようです。ひとつひとつ丁寧にギュ〜と丸めている子、早さが勝負で(?)何枚も重ねクシャクシャッと手早く丸めている子、そんなところにも個性が出ていました。

葉っぱも本物の質感が出るように少し硬い紙もクシャクシャにしてみました。のり付けもたくさんのお花を貼るのは大変でしたが、みんなよく頑張りました。

出来上がったアジサイをお父さんのお顔の周りに飾り付けて完成！

季節を感じながら、子どもたちの心のこもったプレゼントをいつも見えるところに飾ってあげてくださいね。

Akie

